

◆ 大田都税事務所長賞 ◆

「暮らし方を選ぶ」

大田区立馬込東中学校 第三学年 佐藤 叶望

私は、何度か引っ越しをしたことがあります。最近の引っ越しをしたタイミングは幼稚園を卒園して小学校に入学するときでした。幼稚園在園中に引っ越すことも検討しましたが、その時に引っ越しをしなかった理由は、当時の私立幼稚園保育料の補助金に違いがあったことや魅力的な公園が多く子育てがとてもしやすい環境だったからと聞きました。

市区町村、または都道府県にはそれぞれの財政の形があります。それぞれの地域がどのような政策をしているのか調べてみました。まず、市区町村の財政には、予算があります。予算はもちろん住民から支払われる税金によって立てられているので、市区町村によって予算額に差が生まれてしましますが、一部の地域を除き国から払われる地方交付税交付金によって差は殆どなくなっています。

ですので、その予算をどのように配分するかが地域の政策の違いに繋がっているのです。地域は住んでいる人々に合わせた政策を立てているため、地域によって大きな違いが生まれていることがわかりました。私が調べた地域によると、助成金を多く出したり給食費を無償化にして学校生活の補助を手厚く行っている地域や、公園や幼稚園を増やし、子育て支援に力を入れている地域などがありました。また野犬や野良猫などの保護をし、里親に引き取ってもらえる段階になるまで育てる、ということをボランティアに全て任せてしまう地域が多い中、資金を多く投入し体制を整えて引き取りやすい環境を積極的に作る、といった行政を行っている地域もあるそうです。

このように、その地域にどのような問題点があるのかによって、行政が力を入れる項目は大きく異なることが分かります。私達は、その特徴をよく調べ、自分達にあった地域を選ぶことが大切なのです。また、一方的に地域の恩恵を待っているだけではいけません。最近では、ふるさと納税という寄付をすることで様々な返礼を受けられるシステムが活発化していますが、この寄付金に合わせて住民税が減額されるので、これを多くの人が行ってしまうと、地域の住民税が大幅に減税してしまいます。ほとんどの地域は地方交付税交付金によって減額した分を補っているのですが、東京都の二十三区はこれが受けられないので財政が難しくなっている問題が起きているそうです。

私達は、地域を支えながら、そして支えられながら生活をしています。私達は、自分にあった地域を探し、その地域の中で何ができるのかを考える必要があります。このことを沢山の人の知ってもらい、様々な情報を集め、住む街の選択をし、地域が一体となったいきいきとした日本をかたちづくっていききたいと思います。